

黒石絨布工場の争議

は、レがキ

黒石絨布工場のストライキは四日間の斗争でニュースに報道した通りの条件を断いとして大勝利解決した。

二のストライキが何故四日間で、短期間で勝つ事が出来たのか！これを知らぬことが我々の一番大切な事である。この一点を組合員諸君に理解させるためにこの報告書を作成したのである。

一、何故四日間で勝利したか！

団レがキの中には四日間の斗争で勝つ事が出来たこのべたがその意味は四日間だけの斗争で勝つ事が出来たのには、小意味では決して無い。このストライキを勝利することの出来たのは実に四日間にも過ぎず準備斗争のためである。だからストライキが何故勝利したか！といふ事を全体的に理解するためには先づ準備斗争を知る事が必要である。

二、準備斗争は！

最初四人の組合員によりてこうして条件を改善するからといふ小相談が始まりました。我々は

先づ次の如き準備斗争の方針を確立し、二の準備斗争をやるのでなければ準備条件の改善の目的を達成することは不可能であるといふことを充分理解させて直ちに積極的な活動を開始したのである。

1. 分会の確立と全従業員を分会の影響下に置くための活動
2. 要求の統一
3. 資金の積立
4. ストライキに関する準備教育
5. 調査

○分会は一月後には十四人にまで拡大し一般従業員全てとして女子は完全に分会の影響下に置くことができた。かく短期間の間に全廠の後進員大衆を分会へ結びつけることに成功し得たのは分会員の熱誠的努力にもよるが矢張り全大衆の要求を敢上げてその要求を闘いとするこの可能性を親切に理解させ勝利の絶対的確信を持たせたからである。

○要求は争議実行の直前に争議団と会社側の力関係を慎重に考慮した上でワント切下げて一戦必勝の戦術を打撃した。

○資金はできるだけ積立てたが豊富ではなかった。だが工場占領を敢行したおかげでは食堂で食ふことが出来るのだから一般的生活活動費用の積立でけとやる方針をとった。

○ストライキに関する準備教育としては、

1. 準備斗争の重要性に関する教育
2. 争議団の組織に関する教育